

## 第11回災害医療支援薬剤師研修コース開催

2018年1月13日・14日 広島にて

本年度より全国各地で研修を開催する運びとなりましたが、2017年度最後の研修は中国・四国・九州ブロックは広島にてプログラムC(包帯法など)を行いました。今回は広島県在住のお二人、JPSDR登録薬剤師/当会理事の佐々木先生と、登録薬剤師になられたばかりの高倉先生に研修運営をご協力頂きました。

広島国際大学にて開催されました第11回災害医療支援薬剤師研修コースに、寒波襲来の悪天候にも関わらずご参加くださいました皆様ありがとうございました。

広島での開催は、私が初めて災害医療支援薬剤師研修に参加させていただいた2015年以来2回目の開催でした。地元運営スタッフは2名という中で開催でしたが、当日までは広島国際大学の佐々木順一先生に頼り、当日は講師の方をはじめ受講者の方々自らお手伝いのお声掛けを下さったことで無事研修を終えることが出来ました。

第9回仙台研修で登録薬剤師となったばかりの私でしたが、受講生として、地元運営スタッフとして、講師として参加させていただきました。講師依頼のお話を頂いた時、「登録薬剤師になったし講師をするのは当たり前のことなのかな～地元開催だし」と言う気持ちでした。いざ講義内容を考えるにあたり「いつか読まなくては」と思っていたガイドラインやマニュアルをやっと読んで勉強することが出来ました。教える側に立つことで、自分の中の知識を反芻して落とし込むことが出来たと思います。

まだまだ地元会員が少ない中で、多くの方が遠くからご参加いただき大変ありがたく思っております。と、同時に遠くから足を運んでくださる皆様にもっと地元力を感じて頂ける研修会を今後は目指していきたいと思っております。

JPSDR登録薬剤師 高倉 果林

運営のお二人には研修だけでなく、懇親会でも受講者の方々が気持ちよく楽しく参加できるようなお心遣いを頂きました。佐々木先生は広島ならではの、お好み焼きなどの料理を楽しめるお店を早くから手配して下さり、研修受講者の殆ど全員が懇親会参加をされ大変好評でした。また高倉先生は1月生まれの参加者の方々にサプライズを計画して下さり、盛会のうちに終えることが出来ました。懇親会はあくまで任意参加ですが、平時からの繋がりを重視している当会ではこれも参加者同士がつながり、親睦を深める場として重要な内容のひとつと考えておりますので、これからも皆様には無理のない範囲でご参加頂けたらと思います。

参加者の皆様、研修運営担当の皆様、色々お手伝い下さった登録薬剤師の皆様、講師の皆様、ありがとうございました。

## 第7回学術大会開催

### 災害医療の学びと意識の醸成～地域と共に育む災害への備え

2018年2月11日・12日 静岡にて

#### 大会長より終了のご挨拶

第7回日本災害医療支援薬剤師学会学術大会を静岡県立大学にて盛会にて無事に終了することができました。多くの方にご参加頂きかつ活発な意見交換をおこなって頂いたため非常に稔りの大きい学術大会になったのではないかと感じております。皆様のご支援ご協力の賜物と深く感謝致します。

第7回学術大会 大会長 瀬戸 弘和

#### 第7回学術大会に関して～編集委員会より

この度役員改選と委員会設定により、編集委員会(ニュースレター)担当責任者となりましたので宜しくお願い申し上げます。私の感想以外に会員の浅野知実、八木澤恭子の両氏にも執筆をお願いしました。

今後学術大会や研修会に参加された会員の方に執筆をお願いする事がありますのでその際には是非御協力下さい。



さて、日本の象徴と言うべき富士山を間近にした静岡県立大学薬学部草薙キャンパスを会場に天候にも恵まれ第7回学術大会が開催されました。静岡県及び地元の薬剤師の協力により、日本一の富士山に恥じない大会であったと思います。内容的には盛り沢山でしたが、私個人としては岐阜薬科大学、名古屋市立大学薬学部、静岡県立大学薬学部の公立大学が薬学教育の中に災害医療をカリキュラムとして取り入れられている事に関心を持ちました。また薬剤師養成課程が4年制であった2008年に薬事日報社発行の薬学生新聞(3月を除く奇数月隔月発行)に災害医療について執筆を依頼され、7月号は私が、9月号は会員の増田、小川、大井、11月号は村野(現在名誉会員)が担当して執筆しました。私は主に総論的な内容でしたが、文末に「災害医療は医療の原点であり」、是非

薬学教育に取り入れて欲しいと結びました。それが10年の歳月を経て教育の場に取り入れられている事にとっても嬉しく感じました。

本学会の学術大会は第1回から第5回迄は東京で開催され、昨年の第6回から東京を離れて織田信長所縁の岐阜で、今回は徳川家康所縁の駿府静岡で、次回は伊達政宗所縁の仙台でと有力戦国大名所縁の地での開催が続いており、仙台の次は何か、歴史好きの私としては興味深く感じる所です。実行委員の方には御苦勞をお掛けすると思いますが、本学会が未来永劫存続して行けるように御協力の程宜しく願い申し上げます。

編集委員会・副会長 多田 治

## 日本災害医療薬剤師学会第7回学術大会レポート

「もしも南海トラフ地震が起きたなら」

そんな1本の映画を見ている様な臨場感あふれる2日間でした。

私はチェーンドラッグストアで働く薬剤師ですが、災害医療とは程遠い場所において、生の災害に携わったことは一度もありません。しかしこの学術大会で、実際の災害現場で活躍される先生方の実体験を聞き、改めて有事に対する備えが大切であることを感じました。

今回の学術大会に参加して、学んだことが3点あります。それは、

- 有事に備えて日頃からの勉強の重要性: やったことのない事を、いざという時に行うのは難しい。そのためには学会等の勉強会を活用して、知識を積み重ねることが大切であることを学びました。
- 災害対策は日常の中にある: いざという時には日常業務で行っていること、考えることが意外と役に立つ。「これは有事だとどうなるか」という意識を持つことが大切であることを学びました。これならば私でも明日から災害対策を行えると思いました。
- 横の繋がりの重要性: 災害現場は多種多様な組織・職種が集まり現場を支援していきます。その中で「顔見知りがいる」ことでより有益な活動が出来たという体験談がいくつもありました。こういった学会に参加すること自体がまた災害対策の一つになることを学びました。

今回は、災害医療に対する教育がテーマでしたが、大学・薬剤師会・行政等、各方面で様々な教育が行われていることを改めて知ることが出来ました。これを持ち帰り、自分の職場でも災害に対する意識を醸成し教育を行えるよう、行動していきたいと思えます。

八木澤 恭子

## 日本災害医療薬剤師学会第7回学術大会に参加して

今回で学術大会の参加は三回目となりましたが、日本災害医療薬剤師学会学術大会は毎年参加するたびに新しい発見がある学会です。今年の学会テーマは「災害医療の学びと意識の醸成」でしたが、「醸成」という言葉にふさわしい演題が勢ぞろいでの発表も素晴らしいものでした。

特に薬学教育の分野において、災害医療という分野に対してコアカリキュラムに含まれている中での地域ぐるみの防災への取り組みや、各教育機関や都道府県での教育プログラムが構築・試行に驚かされました。私自身、病院実習の学生さんに講義は行っていますがまだまだ薬剤師の災害医療への可能性を伝えきれていないと痛感しました。

また、今回の学術大会でJPSDRの「登録薬剤師」として登録して頂きました。3年かけて様々な研修会場に赴き参加させて頂きました。ようやく一区切りとなりました。修了証授与式で壇上に上がり見覚えのある方々のお顔を拝見しホッとする自分に4回の研修以上にこの3年間の価値があったのだなあと感慨深い思いがありました。今後もここで生まれたつながりを大切にしていきたいと思えますので、どうぞよろしく願いいたします。



来年度は仙台での開催となり2月ではなく7月開催 (\*2019年7月20-21日の予定です。事務局よりHPやMLにて随時報告します)となる予定だそうです。「寒い東北」ではなく梅雨が明けて爽やかな天候で皆様を迎えられることを願っています。

JPSDR登録薬剤師 浅野 知実

## お知らせ <第1~6回学術大会の抄録集の掲載>

ただいまホームページ新規移行の為準備中ですが、過去の学術大会抄録集は会員専用ページでのみ閲覧可の予定です。他、これまでの学術大会や研修報告、会員の皆様の支援活動報告(2011年東日本大震災、平成28年熊本地震)なども、会員ページで閲覧できるようになります。準備出来次第、MLにて告知致します。お待たせして申し訳ありませんが、どうぞご期待ください。

### <年会費納入のお願い>

事業年度、会計年度は 1月1日~12月31日です。10月までにお振込みをお済ませください。  
郵便振替、金融機関への振込依頼書・払込受領書をもって領収書に代えさせていただきます。  
【郵便局】株式会社ゆうちょ銀行 口座名 日本災害医療薬剤師学会 記号 10190 番号 90369941  
【銀行】銀行名 ゆうちょ銀行 口座名 日本災害医療薬剤師学会 金融機関コード 990 店番 018 普通口座 9036994